

2023 年度 重点業務
静岡県若者・移住者対象ニーズ調査

アンケート結果分析報告書

第 6 版(2023 年 8 月 30 日)

目 次

I 調査の概要	2
2. 調査対象	2
3. 調査方法	2
4. 調査項目	2
5. 調査期間	2
6. 調査結果の回収状況	2
7. 調査結果の概要（要旨・要約）	3
II 調査結果：アンケート調査結果	5
III 調査結果：ヒヤリング調査	35
1. ヒヤリング対象の属性	35
2. ヒヤリング結果	35
3. NPO活動に関するヒヤリング結果のまとめ	38
添付：設問票	
ヒヤリング調査票	

Ⅰ 調査の概要

1. 調査の背景・目的

静岡県は移住希望地として3年連続全国1位となるものの、若者の県外流出や女性のキャリア形成の難しさといった課題が山積する。雇用創出、社会貢献活動の促進など、多角的なアプローチによる魅力的な地域づくりに基づいた若者支援策の実施が人口流出の歯止めになると考えられる。現在若者・移住者が抱えている課題やニーズを把握し、移住者と親和性の高いNPO活動へ機会創出や社会課題解決に取り組む起業にはどのような支援が必要とされるのかを調査結果から分析する。本調査結果をもとに、今後必要とする研修、伴走支援等のプログラム作成に繋げる。

2. 調査対象

主に静岡県在住若者（主に40歳未満）・移住者

3. 調査方法

- 1) オンラインアンケート調査 (Google Form の利用)、excel 集計
協力団体リストを活用して協力依頼
- 2) ヒヤリング調査 対面又はオンライン対面調査 1時間/人
オンライン調査回答者でヒヤリング調査協力に応じてくれた方と調整

4. 調査項目

- 1) 移住者の属性（移住地域、移住年数、職業、年齢、家族構成等）
- 2) 生活の課題とニーズ（生活、自治会、仕事、学校等）
- 3) 社会貢献活動への実施状態
- 4) NPO活動への関心度
- 5) NPO活動への参加要望、起業希望等

5. 調査期間

- 1) オンラインアンケート調査：2023年6月1日～7月31日
- 2) ヒヤリング調査：2023年6月25日～8月29日

6. 調査結果の回収状況

- 1) アンケート調査結果 回答数 249 件
- 2) ヒヤリング調査結果 19 件

7. 調査結果の概要（要旨・要約）

- ・回答者は、移住者とリターン者が占める割合は全体の 52%であった。学業終了後、又は何らかの利用で静岡にリターンした人の割合が 13%であった。
- ・移住・リターンの理由は、「仕事」が 67 件、「結婚のため」26 件、「自然環境が気に入って」23 件、「学業のため」が 14 件、「子育てのため」に 11 件であった。
- ・移住者の移住年数は「1 年未満」が 10%、「1～5 年」が 31%、「11 年～15 年」が 18%、「16 年～20 年」が 13%、「20 年以上」が 15%だった。
- ・移住者で、「すでに本業以外の活動に参加している人」の割合は 40%、「参加していない人」の割合は 60%だった。
- ・移住者が参加する本業以外の活動分野は、「地域活動(自治会活動等)」「学校の活動」、「ボランティア活動」が主なものである。
- ・「移住した人の 56%が、「NPO 活動に興味がある」と回答した。既述の結果より、そのうちの 40%はすでに何らかの活動に参加している。
- ・移住者のうち、「既存の NPO 活動に参加を希望する」人の割合は 47%、「希望しない」人の割合は 53%
- ・移住者が参加したいと考える活動領域は、「子どもの居場所づくり」「まちづくり」「子育て支援」「不登校・ひきこもり支援」
- ・移住者のうち、「自分で何か新しい NPO 活動を開始したいという人」は 19%
- ・移住者が自分で何かを始めたい分野は、「まちづくり」を希望する割合が最も高く、「子どもの居場所づくり」「子育て支援」「多文化共生・国際協力」「文化芸術振興」と続く。
- ・移住者の家族構成は、「未成年の子どもと同居」が 43%、「3 世代家族が」4%、「同棲等」が 6%、「単身」が 33%、「夫婦のみ」が 14%であった。
- ・ソーシャルビジネスを始めたい意欲があるが、どう始めたらいいのかわからない。こういった話をできる場がなかった。
- ・想いはめぐり、様々なアイデアはあるので、それらを可視化して資料として協働相手を探したい。可視化のスキル、実現可能性を高めること、プレゼン力を学べる研修が必要
- ・NPO のことがよくわからない。
- ・何かをやりたい若者は多いが、腹を割って話していない（機会がない？場がない、シャイ？）
- ・高齢者施設（デイサービス等）での音楽ボランティア活動にとっても興味があるので、ぜひやりたいが全く情報がない。
- ・本業で NGO の中間支援、事業評価事業に携わってきたので、その経験を活かしたいが地域団体に関する情報が入手できず、社会貢献ができないでいる。
- ・地域活動には興味はあるが情報が入ってこない。地域在住の職場の方にイベント等に誘われて参加したことはある。祭りの手伝い、清掃等に興味はあるが、自分だけで参加するには抵抗がある。
- ・何かを始めるには(起業のためには)、リスク管理、マーケティング、資金調達、税金申告、事務等についての講座や支援が必要ではないか。

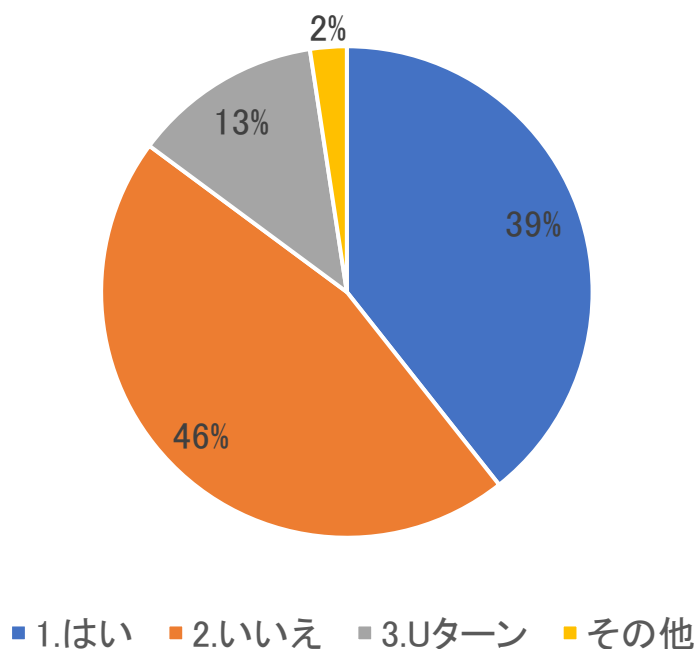
- ・ 移住者であるがゆえに、地域のしがらみに縛られることなく発言・活動がしやすい。
- ・ 会社のCSR（グリーンカーペット、マイ箸プロジェクト等）のみで社会貢献している。
- ・ 本業ではいただいた仕事をこなす形であり、本来興味のある分野をNPO活動で充実させている。将来は、それが重なることが理想。

既存のNPO活動に参加したいが、「団体情報をどこで、どうやって入手できるのか、どこに相談していいのかがわからない」という声は、ヒヤリング調査の中でよく耳にした。やりたいことは具体的にあるのだが、何から始めていいのかわからない、といった声もあった。ふじのくにNPO活動支援センターの存在を今回の調査で知った人も多い。また、移住までの相談は手厚いが、定住までの支援は不十分であるという感想もあった。社会貢献に対する深い思いをどこに向けたらいいのか、戸惑う移住者もあった。

Ⅱ 調査結果:アンケート調査結果

1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？(件)	
1.はい	98
2.いいえ	114
3.Uターン	31
その他	6
合計	249

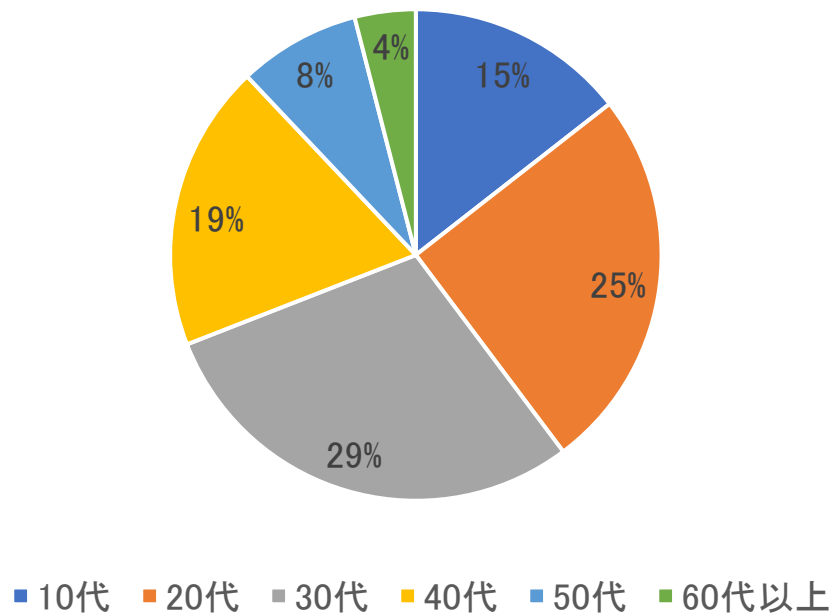
1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？



回答者は、移住者とUターン者が占める割合は全体の52%であった。学業終了後、又は何らかの利用で静岡にUターンした人の割合が13%であった。

1-2. あなたの世代をお伺いします	
10 代	36
20 代	63
30 代	73
40 代	47
50 代	20
60 代以上	10
合計	249

1-2. あなたの世代をお伺いします

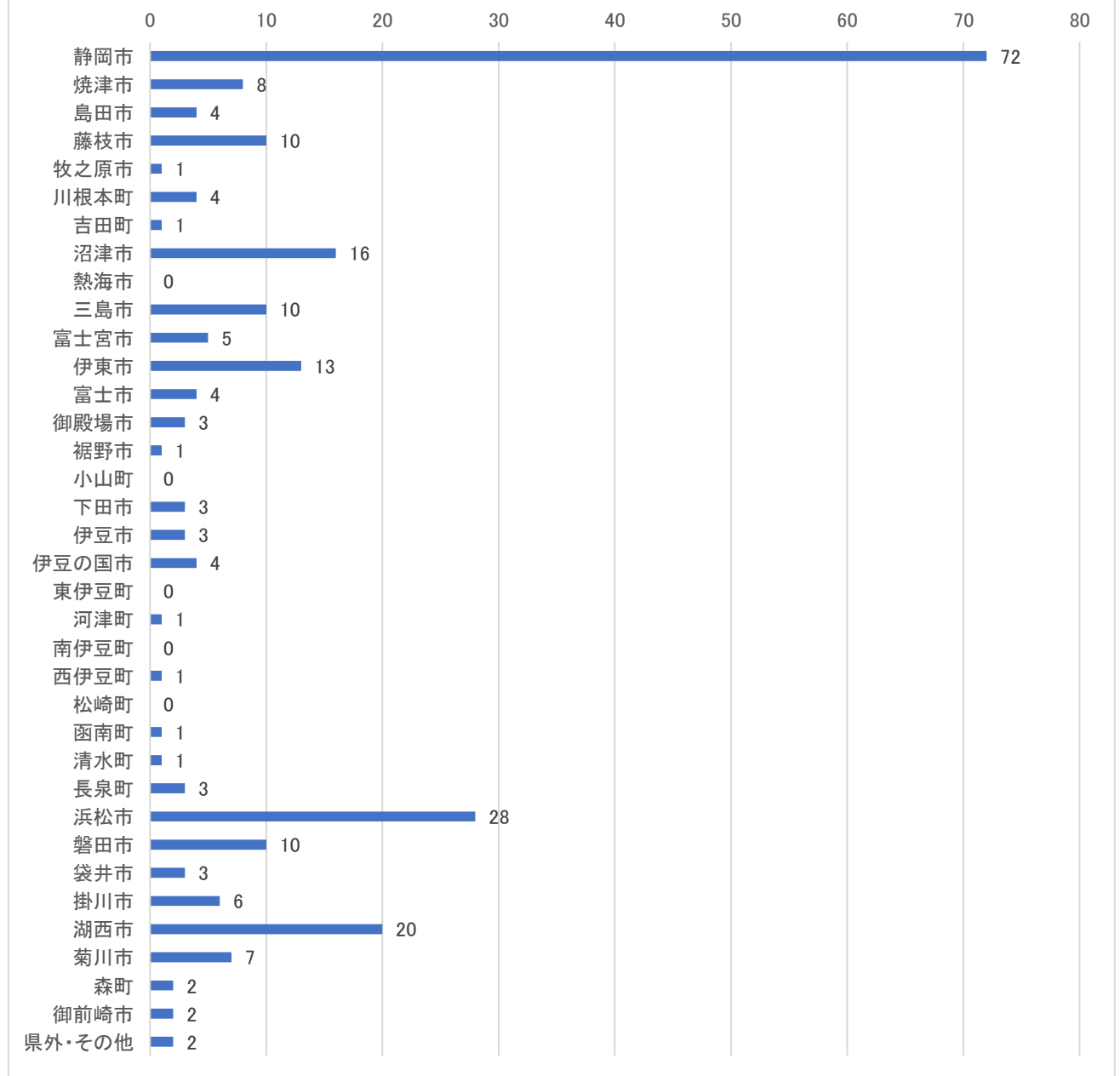


回答者のうち 40 代未満が 69%、50 代未満が 88%を占めた。若者の定義をあえてしてはいなかったが、60 代以上が占める割合は 4%であった。定年後に移住する割合も一定数存在する。

1-3. 現在のお住まいの市町をおしえてください。 ※住民票に記載されている市町をご回答ください。(件)	
静岡市	72
焼津市	8
島田市	4
藤枝市	10
牧之原市	1
川根本町	4
吉田町	1
沼津市	16
熱海市	0
三島市	10
富士宮市	5
伊東市	13
富士市	4
御殿場市	3
裾野市	1
小山町	0
下田市	3
伊豆市	3
伊豆の国市	4
東伊豆町	0
河津町	1
南伊豆町	0
西伊豆町	1
松崎町	0
函南町	1
清水町	1
長泉町	3
浜松市	28
磐田市	10
袋井市	3
掛川市	6
湖西市	20
菊川市	7
森町	2
御前崎市	2
県外・その他	2
合計	249

1-3. 現在のお住まいの市町をおしえてください。
※住民票に記載されている市町をご回答ください。

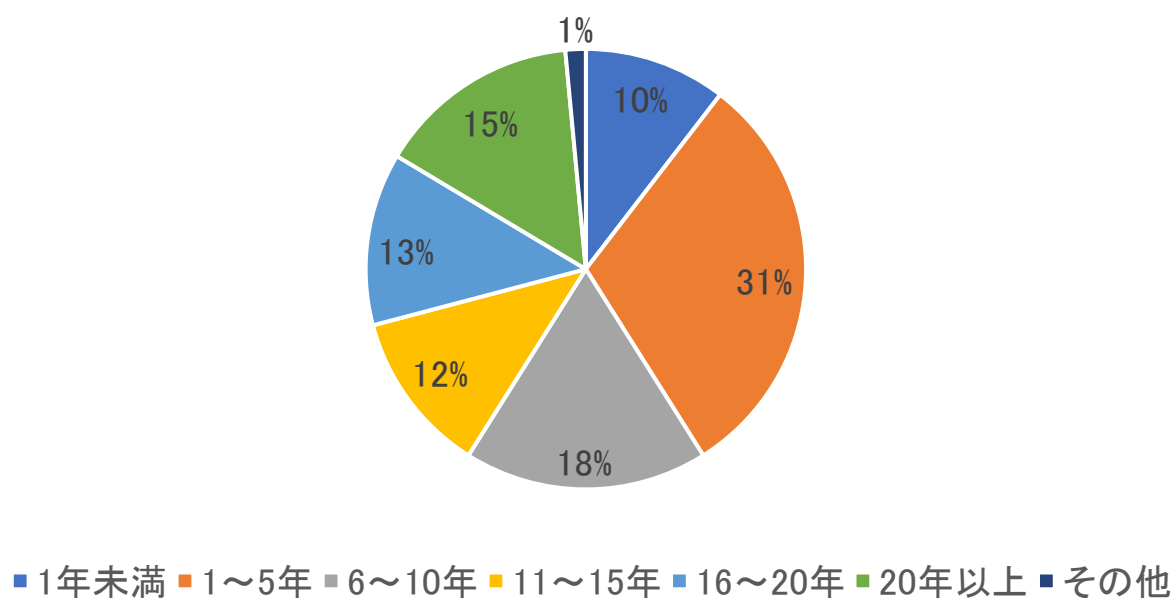
(件数)



地域別回答者は、東部(69件 27.8%)、中部(100件 40.2%)、西部(78件 31.3%)だった。オンライン広報により関係部署を通してアンケート参加を依頼した。自治体により偏りがみられるのは、周知への協力度が起因する。例えば、湖西市では市のLINEによる周知協力があつたため、人口比に比較し回答数が多かった。

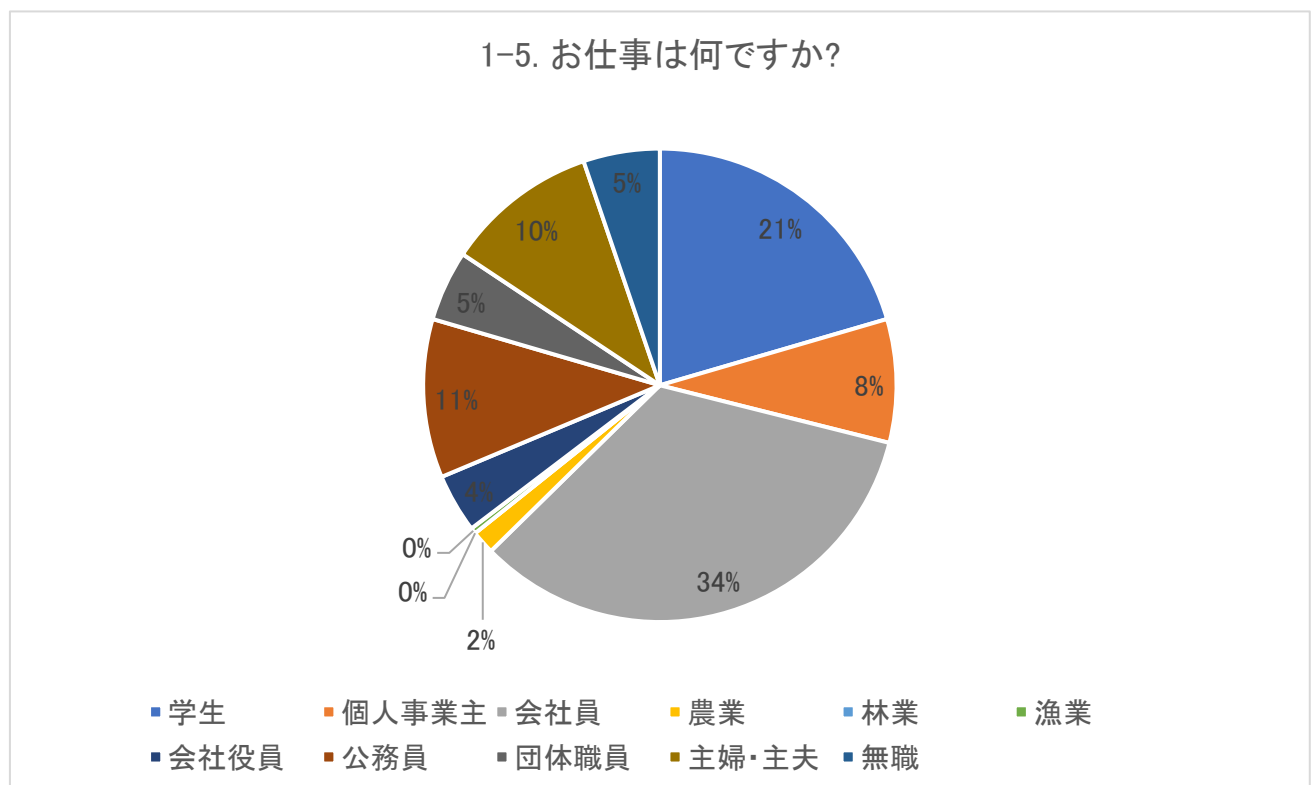
1-4 移住された方にお伺いします。静岡県には何年お住まいですか?(件)	
1 年未満	14
1～5 年	41
6～10 年	24
11～15 年	16
16～20 年	17
20 年以上	20
その他	2
合計	134

1-4 移住された方にお伺いします。静岡県には何年お
住まいですか?



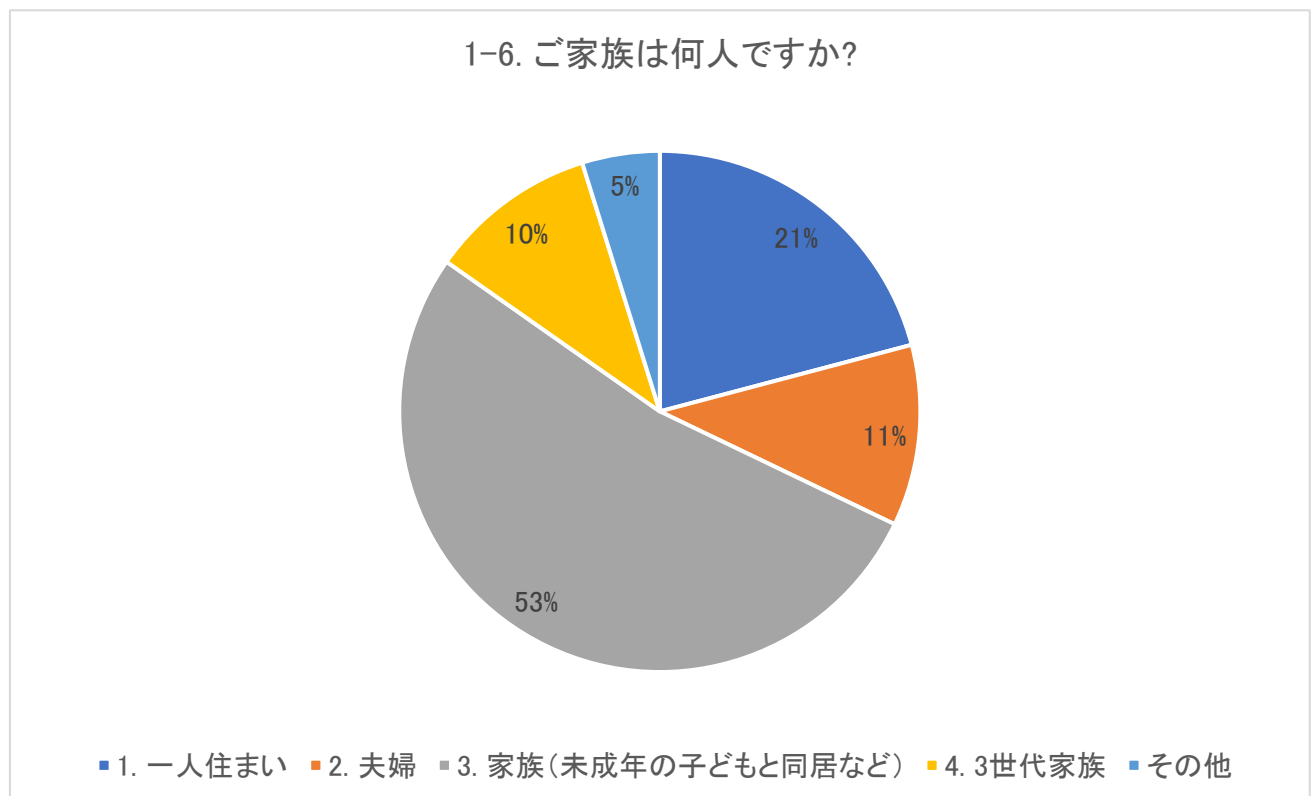
移住者の移住年数は、「1 年未満」が 10%、「1～5 年」が 31%、「11 年～15 年」が 18%、「16 年～20 年」が 13%、「20 年以上」が 15%だった。

1-5. お仕事は何ですか? (件)	
学生	51
個人事業主	21
会社員	84
農業	4
林業	0
漁業	1
会社役員	10
公務員	27
団体職員	12
主婦・主夫	26
無職	13
合計	249



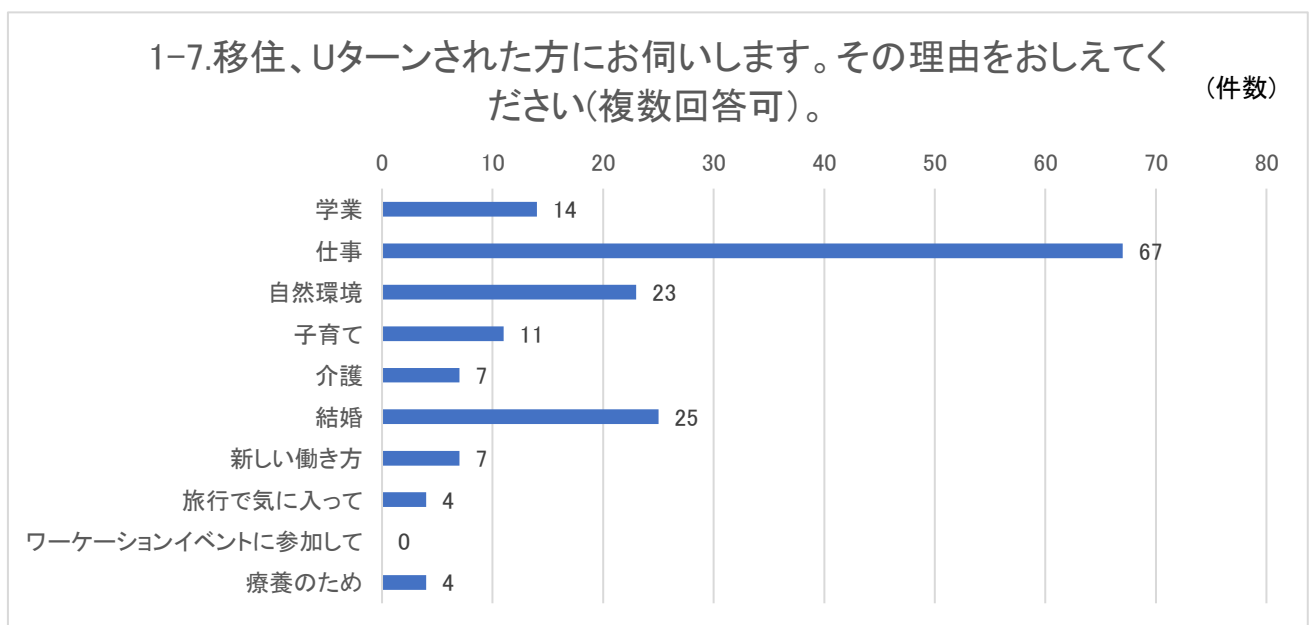
回答者の職業は、「学生」が21%、「個人事業主」が8%、「会社員」が34%、「公務員」11%、「主婦・主夫」が10%と続く。

1-6. ご家族は何人ですか? (件)	
1. 一人住まい	52
2. 夫婦	28
3. 家族(未成年の子どもと同居など)	131
4. 3世代家族	26
その他	12
合計	249



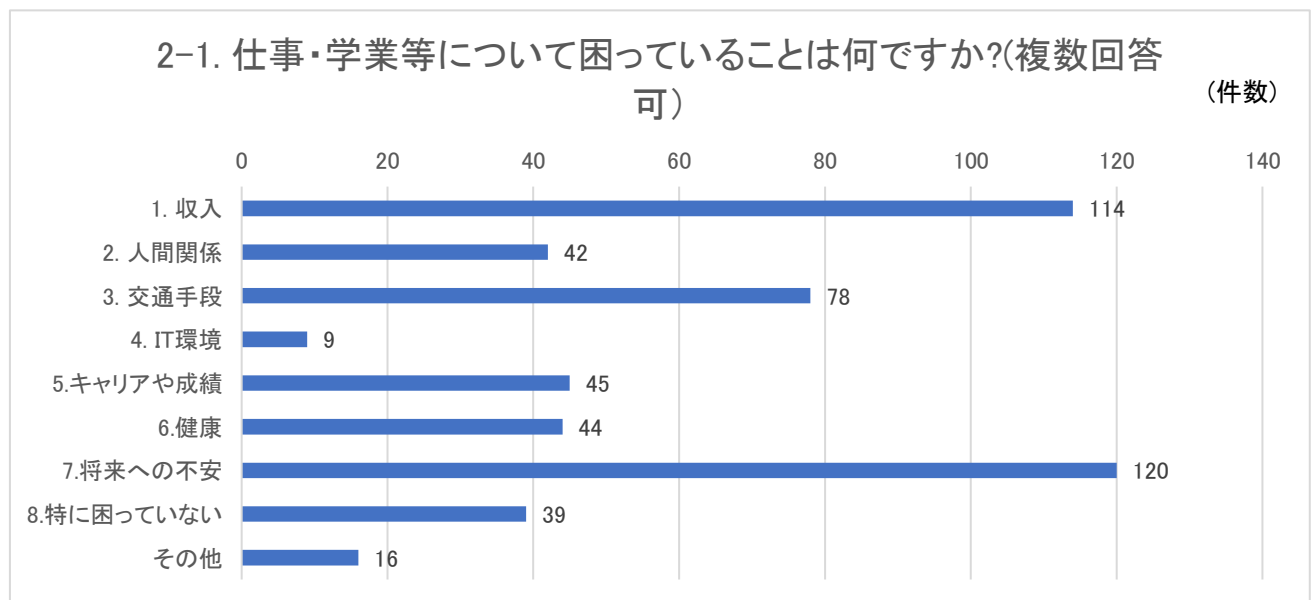
回答者の家族構成は、「家族世帯」が53%、「一人住い」が21%、「夫婦世帯」が11%、「3世代世帯」が10%であった。

1-7.移住、Uターンされた方にお伺いします。その理由をおしえてください(複数回答可)。(件)	
学業	14
仕事	67
自然環境	23
子育て	11
介護	7
結婚	25
新しい働き方	7
旅行で気に入って	4
ワーケーションイベントに参加して	0
療養のため	4



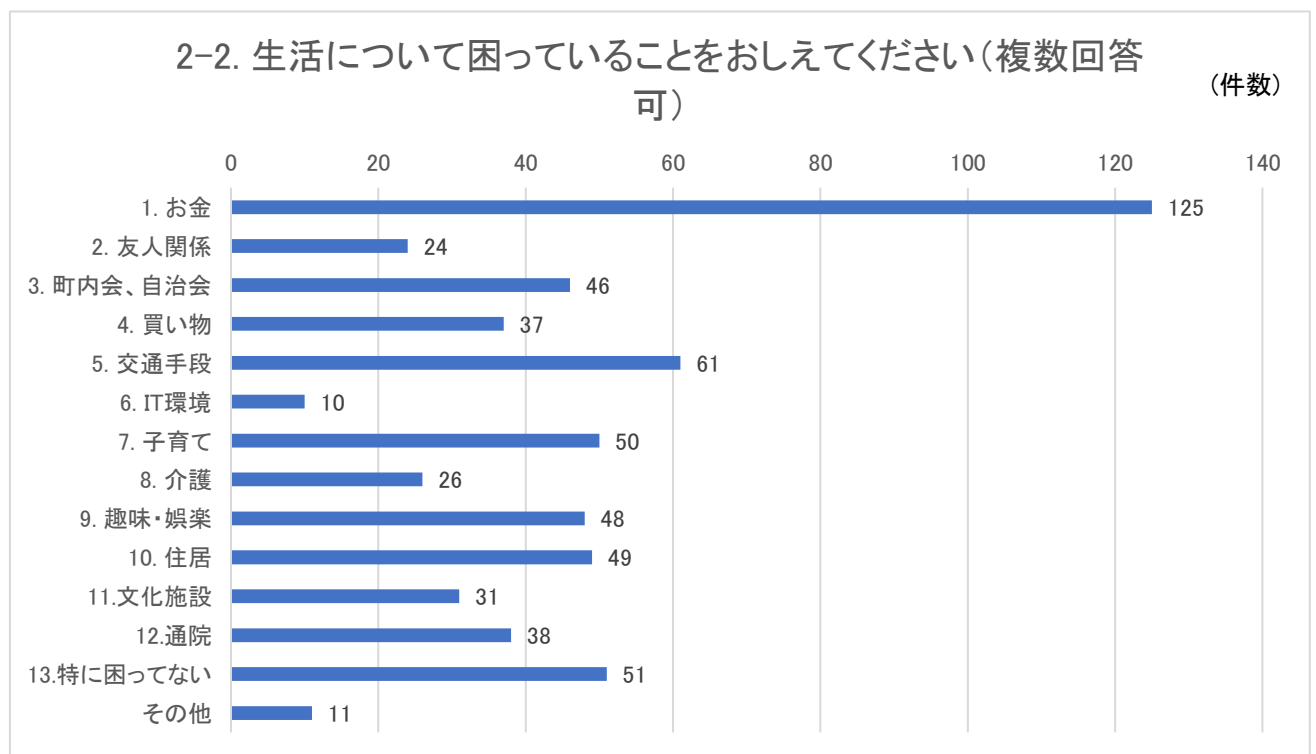
移住・Uターンの理由は、「仕事」が67件、「結婚のため」26件、「自然環境が気に入って」23件、「学業のために」が14件、「子育てのために」11件であった。

2-1. 仕事・学業等について困っていることは何ですか?(複数回答可) (件)	
1. 収入	114
2. 人間関係	42
3. 交通手段	78
4. IT 環境	9
5.キャリアや成績	45
6.健康	44
7.将来への不安	120
8.特に困っていない	39
その他	16



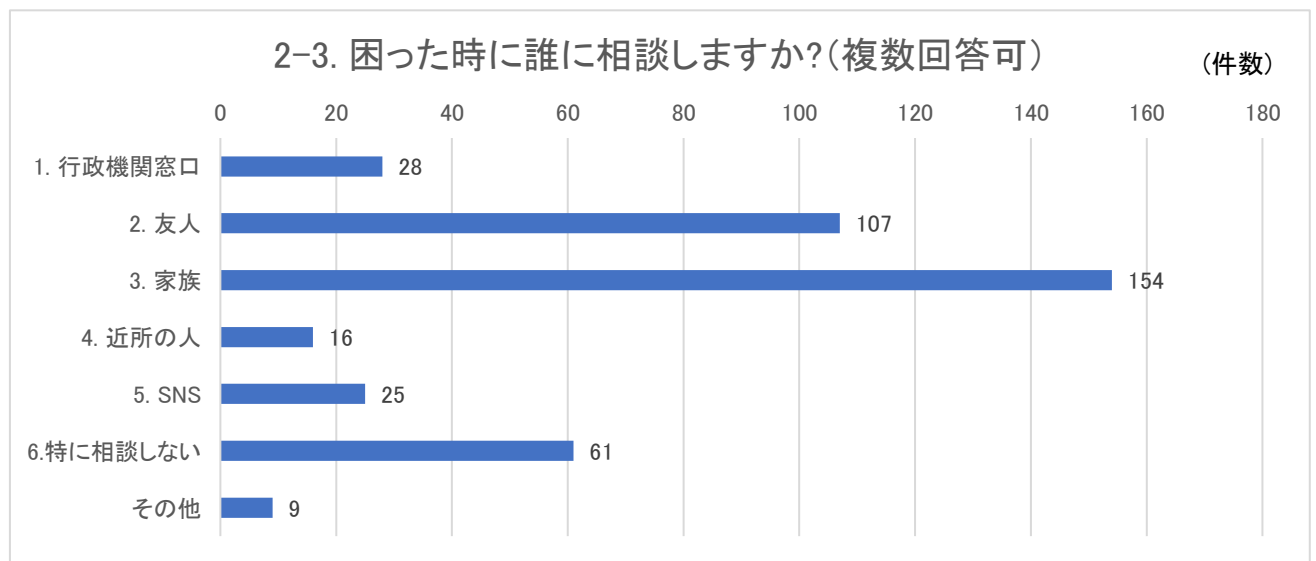
仕事や学業において抱える不安要因としては「将来への不安や収入」が突出しており、それに「交通手段」「キャリアや成績」、「健康」「人間関係」が続く。

2-2. 生活について困っていることをおしえてください(複数回答可) (件)	
1. お金	125
2. 友人関係	24
3. 町内会、自治会	46
4. 買い物	37
5. 交通手段	61
6. IT 環境	10
7. 子育て	50
8. 介護	26
9. 趣味・娯楽	48
10. 住居	49
11.文化施設	31
12.通院	38
13.特に困ってない	51
その他	11



生活における不安要因は、「お金」が突出して多かった。「交通手段」、「子育て等」が続くが、「特に困っていない」人も一定数存在する。

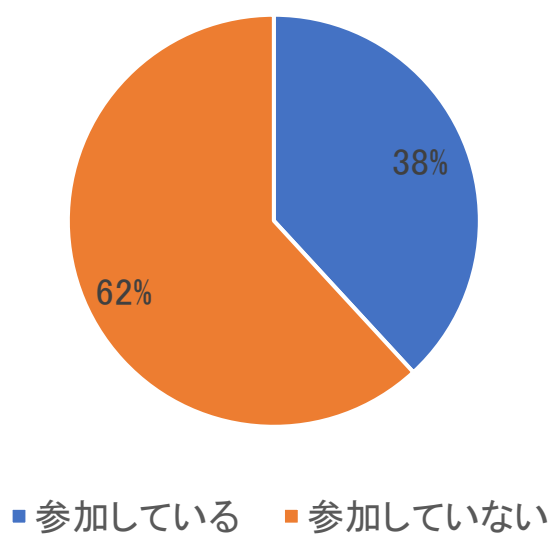
2-3. 困った時に誰に相談しますか?(複数回答可) (件)	
1. 行政機関窓口	28
2. 友人	107
3. 家族	154
4. 近所の人	16
5. SNS	25
6.特に相談しない	61
その他	9



回答者の困った時の相談相手は「家族」、「友人」といった身近な人が多い。

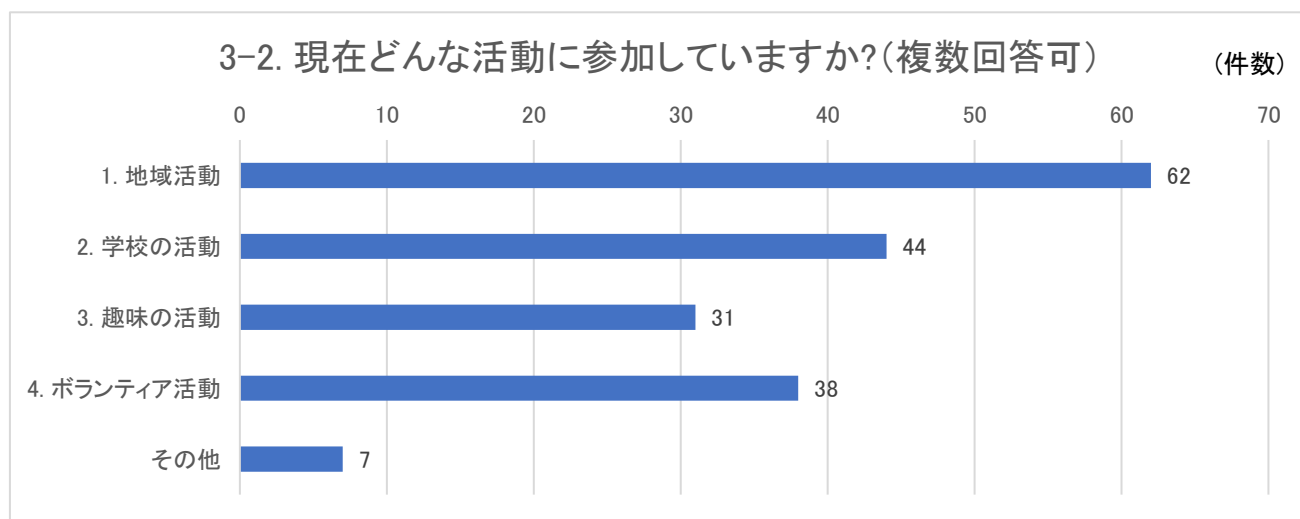
3-1. 本業以外の活動(地域の活動やボランティア活動等)に参加していますか? (件)	
参加している	95
参加していない	154
合計	249

3-1. 本業以外の活動(地域の活動やボランティア活動等)に参加していますか?



身近な地域活動を含め、回答者の「本業以外の活動への参加者」は38%、「不参加」は62%だった。

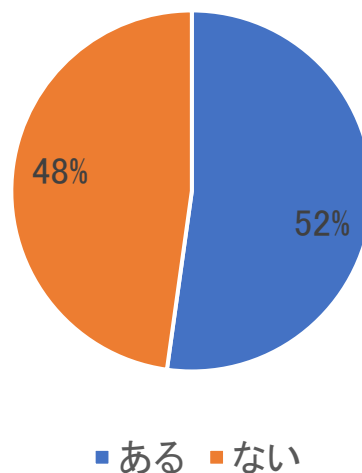
3-2. 現在どんな活動に参加していますか?(複数回答可) (件)	
1. 地域活動	62
2. 学校の活動	44
3. 趣味の活動	31
4. ボランティア活動	38
その他	7
合計	182



「本業以外の活動への参加者」が回答者 95 件あることから、参加者は平均 2 つの本業以外の活動へ参加している。「地域活動」「学校の活動」「自主的なボランティア活動」「趣味の活動」と続く。

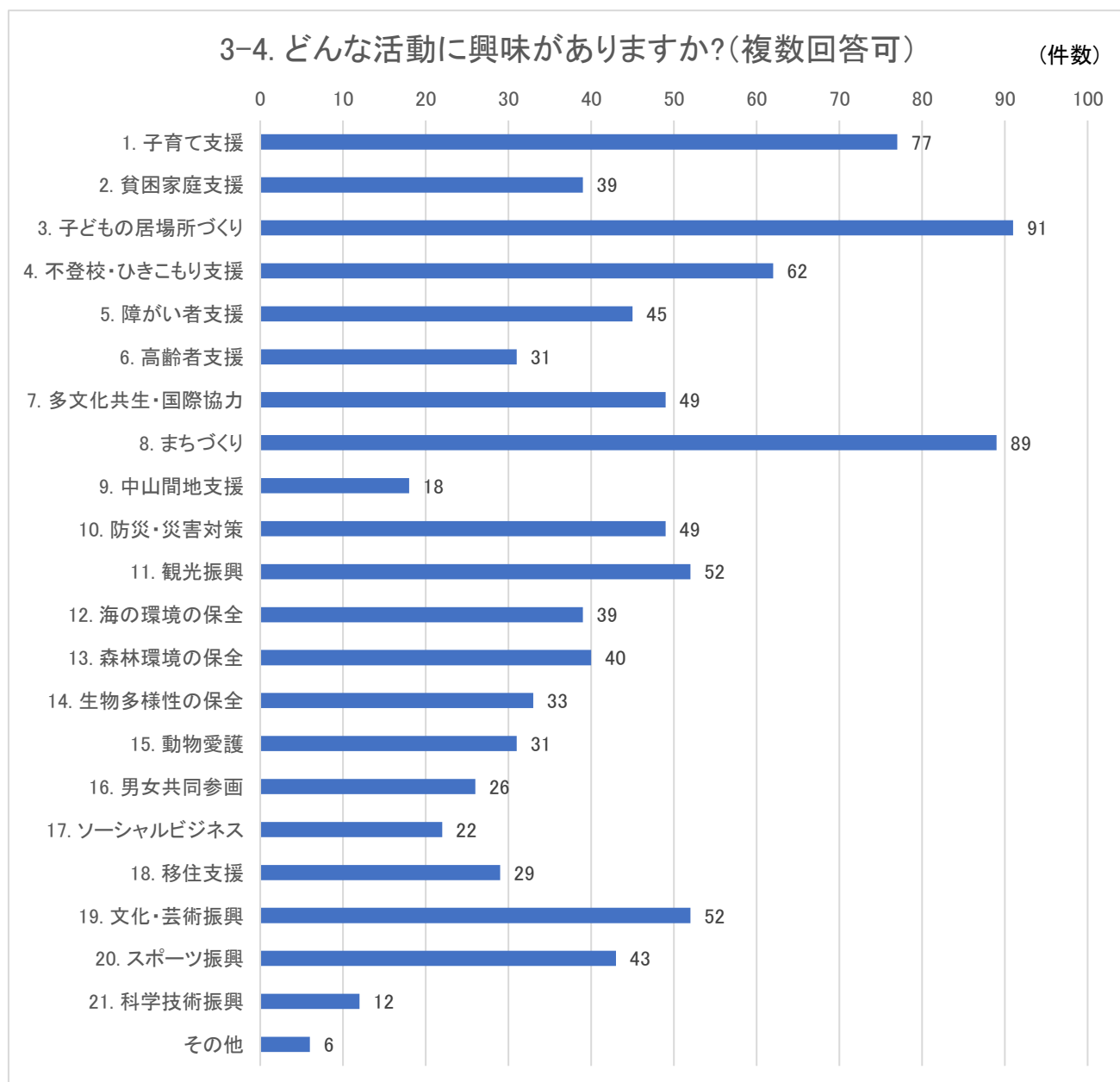
3-3. NPO 活動に興味はありますか？ ※NPO 活動とは、市民が主体となって社会的な課題の解決に取り組む、営利を目的としない活動を指します。（件）	
ある	130
ない	119
合計	249

3-3. NPO活動に興味はありますか？
※NPO活動とは、市民が主体となって社会的な課題の解決に取り組む、営利を目的としない活動を指します。



回答者の半数以上 52%が「NPO活動に興味がある」と回答している。設問表にNPO活動を定義づけしたが、その理解度には格差があると考えられる。自治会のような共益活動も広義ではNPO活動含まれると考えているが、自由回答やヒヤリングからその点が理解されていないことが伺えた。

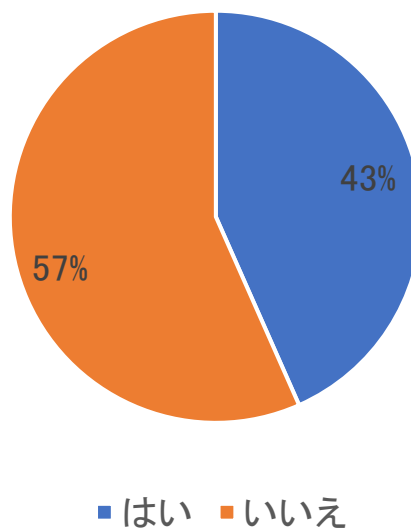
3-4. どんな活動に興味がありますか?(複数回答可) (件)	
1. 子育て支援	77
2. 貧困家庭支援	39
3. 子どもの居場所づくり	91
4. 不登校・ひきこもり支援	62
5. 障がい者支援	45
6. 高齢者支援	31
7. 多文化共生・国際協力	49
8. まちづくり	89
9. 中山間地支援	18
10. 防災・災害対策	49
11. 観光振興	52
12. 海の環境の保全	39
13. 森林環境の保全	40
14. 生物多様性の保全	33
15. 動物愛護	31
16. 男女共同参画	26
17. ソーシャルビジネス	22
18. 移住支援	29
19. 文化・芸術振興	52
20. スポーツ振興	43
21. 科学技術振興	12
その他	6



回答者の関心が高かった活動分野は、「子どもの居場所づくり」「まちづくり」「子育て支援」「不登校ひきこもり支援」と続いた。

3-5. すでに行われている NPO 活動へ参加してみたいと思いますか? (件)	
はい	108
いいえ	141
合計	249

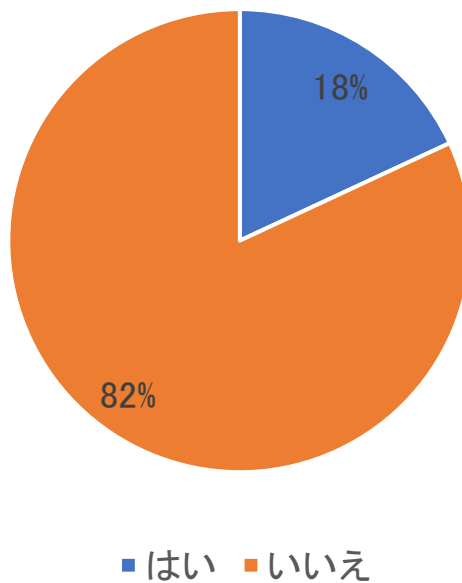
3-5. すでに行われているNPO活動へ参加してみたいと思いますか?



回答者の「既存NPO活動への参加希望」は43%、「希望しない」は57%であった。

3-6. 新しい NPO 活動を始めたいと考えていますか？（件）	
はい	45
いいえ	204
合計	249

3-6. 新しいNPO活動を始めたいと考えていますか？



回答者の自分で新しい活動を「始めたい」割合は18%、「始めたくはない」が82%であった。既存のNPOへの参加希望と比較すると、自主的に始めることはかなりハードルが高いと考えているようだ。

【5】ご意見等ございましたら、自由にご記載ください。
NPO 法人 Cafe de 寺子屋に所属しています
ボランティア活動や、そういった事をやっているコミュニティに興味があります。ただ募集を見たことはあまりありませんでした。どこで活動をやられているのか教えていただきたいです。
流出した方々の転出の理由や希望を確認したほうが良いと思います。
子育て世帯向けの npo 法人をつくりたい
移住してみて困っているのは、主に文化的なサービスが都会と比べ普及していないため、市民が自力でいろいろしなければならないところです。楽しい面もありますが、そのぶん仕事をする時間を削られてしまうので、キャリアアップにはマイナスです。それでも、次世代のためになにかしらまともな世の中を残さねばならないと考えますので、必要なことはやっています。行政側から、市民が主体となってやっているのがイイネ等評価されているのをしばしば見受けますが、本来行政がやるべきことを市民がやっている、という自覚を持てていただきたいと思います。今は、なんでも民間が担った？明治時代かな……、くらいに思って活動しています。
街自体が面白くない。やる企画も面白くない。子供が小さいうちはいいが、高学年になると企画も面白さが無い。
若者の県外流出は、社会経験や多角的に物事を見る力を養うという意味で必ずしもデメリットとは考えません。いつでも戻ってこれる環境であることが大切だと思います。地域のために流出させない施策でなく、若者(全世代)のために地域が動く施策がおのずと流出と流入のバランスを整えることになるのではと思います
移住者にしか目が向いていない様子ですが、生まれ育ちが静岡県民の私は移住者よりも静岡県に対する想いが強いです。自分達で作っている地場野菜の無農薬野菜を利用した活動を NPO 法人を設立して、様々な地域貢献をしていきたいけれど、何から始めて良いか分かりません。ご指導頂けると有り難いです。
教育関係に興味があります
湖西市には特に公園もなく、散歩するようなところもない。自然がありでも手入れされている場所があれば良いと思う。また湖西に引っ越し、こんなにも町内費が高いとも思わなかった。なぜこんなにも町内により値段が違うのか。住んでてもメリットはない。
産婦人科のクリニックを作って欲しい。交通機関(電車、バス)の運行数を増やして欲しい
NPO 活動も興味はあるが現状で手一杯。
障害児をフルタイムで受入可能な施設が整っていない
生後 4 ヶ月の子供がいますが、湖西市で出産できる病院がないのが不便。国や市からの手当や給付金だけだと、どうしてもマイナスになってしまう。
静岡市に引っ越してきて結構経ちますが、自然よし、食べ物よし、買い物よし、交通よし、と、とても暮らしやすい場所だと思います。ただ、同じ市内でも、わりと場所によるかもしれません。就職で困っていますが、行政のお力で幸いなんとかなりそうです。このまま静岡で暮らしていけたら嬉しいです。
移住者です。文化芸術振興(NPO 代表理事)、子育て支援団体などいろいろな活動をしています。活動はしやすいですし仲間も見つかりますが、いずれも金銭的にはボランティア～持ち出しがほとんどです。若年の女性の流出で言えば、大学が少ない上、クリエイティブな雇用のイメージがないため、キャリアを持って生きていきたい自立した女性が地元に戻ってくる選択をしないのかなと感じています。

Hoping that those kids who just came from the philippines will be given more days and time to study Japanese Language, for them to easily adapt to the culture of Japan.

無職に社会への復帰のチャンスを与えてほしいです。

浜松市ですが、道路環境など街づくりが下手だと思います。

静岡街中が衰退しているのはもったいない。静岡駅に降りて紹介できるところがない。静岡県全体を見れば観光で自慢できるところはたくさんある。子供がいるが理系の大学が少ない。魅力ある大学が少ない。もっと誘致するか公立で他にも作ってほしい。

社会貢献活動をして人口流出を防ぐというのがよくわかりません。

県外から来て2年で、夫の転勤にともなって県内で移住することになりました。また数年で移動することになります。静岡県は女性の正社員の募集が少ないと感じます。また商業的な盛り上がりはあるものの文化教育支援は手薄な気がします。

広野周辺に住んでいるが、バスがなくて困る

社会貢献活動に参加したいと考えても、若い人は時間とお金と心に余裕がある方です。とある団体で特殊なボランティアを15年やっていますが新しくきた学生ボランティアは続かずにやめていきました。人口の減少対策に社会貢献を、と思っているのであれば、その土台が今、まさに無い状態では不可能でしょう。そもそも自治会などもボランティア活動の任意集団ですが、若い世代の方々や、子育て世代が子供会や地域活動、祭りや婦人会のようなものに嫌気をさして脱退が続いている状態です。根本的に、静岡市の人口減少は会社が少なことや、給与が低いこと、近年では自治会活動などに参加できないほど経済的に苦しいことから、他県に出ていくものと思われます。未来の静岡市をつくるために市長さんが開いた意見会、年寄りばかりで若い人々はいませんでした。私も参加したかったのですが、平日は仕事があります。静岡市は若い人々の生活が昔と比べてどんなことになっているのか、まずは知って欲しいと思います。そして、地域のために、静岡市に住む方々のために少しでも自分が動きたい、社会の役に立ちたい、と思えるような静岡市にしてもらいたいです。

行政は若者が住みやすくなる支援等として給付金や居場所づくりなどに力を入れてくれているのはありがたいが、そればかりではないと思う。例えば、高齢者が増えてきている現在、介護を行う立場が子どもだけでなく孫世代にきているため、孫は小さい子供の子育てと祖父母の介護を行っている。このことから、とてもじゃないが認知症の祖父母、要介護の祖父母の面倒と一緒に子どもの面倒は見れない。ひと昔前は祖父母が孫の面倒を見る世の中であつたため、祖父母から孫に「お前らに面倒を見てもらうのは当たり前」という話があるのも現実。そのため結婚する人が少なくなるのもわかるし、結婚しても子どもを授かろうと思えないというのはとてもわかる。このままであれば余計に少子高齢化が進んでいくのではないかと。若者への直接支援も必要であり大切だが、若者に影響を与えている環境(介護だったら、高齢者の施設を増やす 高齢者へのサービスを考えるなど(医療者が足りないのなら、医療行為が要らない人達なら大学生とかのバイトでも高齢者の集まる場所を担えるのではないかと))について支援を考える必要もあるのではないかと。

他県からの人には冷たい市

①新しい建物でなく、すでにある古いアパートなどを積極的にリフォームして売ってほしい。立地はいいのに空き家ばかりはもったいない。②駅周辺からセノバ、駿府公園、呉服町をつなげるような街づくりをしてほしい。またビルの1階はできる限り一般企業でなく、店舗にした方がいいと思う。街歩きをしたくなる魅力あるストリートにしてほしい。

もっと若者が住みやすく観光や買い物に来て楽しい沼津市にしてください。
住民票に行った移していないのですが、地域の活動には興味があります。仕事の都合で土日出勤もあるの で、懸念点ではあります。
親の介護の為会社を辞めざるを得なかった。
移住して頂ける魅力ある街、転出されない魅力ある街づくりは、なかなかの課題です。喫煙者のマナー、野焼き、騒音トラブルや町内会問題。都市でも田舎でも同じ課題があります。一つ一つクリアしていかなければ、住みやすい環境にはなりません。同時に、必要な所への支援。小さな子供にばかり焦点がいき、お金をばらまき。年金所得が少ない家庭の問題。今のように金銭的支援が無かった時に子育てしてきた、40-50代の家庭とその子供達への負担は相当なものということを、誰も問題にしません。20年前から子育てしてきた世代から見ると、今の子育て世代は、共働きできて家を持てて、旅行に行けてと随分贅沢できています。格差が大きいのが問題なのに、子供手当の所得制限撤廃の意味が分かりません。地方行政は把握しているはずなのに、国会には反映されないようです。小さなところから大きなところまで、再度見直ししなければ何も変わらないと思います。
食品ロスを貧困家庭に回す仕組みはもっと拡充できませんか、
シンプルに同世代の友人と出会う場面が少ない(婚活は静岡マリッジのようなサービスがあるけれど、より気楽に使える安全な出会いの場があると良い)
私は清水区に越して来てから2年になります。私は仕事の転職に伴いこちらに越して来ました。学生が多い地区に見受けられますが、近い将静岡を出ていってしまう気持ちは良く分かります。私はメンタル疾患を抱えていてバスでしか移動が出来ないのですが、国道沿いのバスは無いに等しく年配の方もとても困ると思います。土日の運行はありません。住みやすいとはとても思えません。なんとか改善して欲しいと思っています。
湖西市は他の地方自治体より遅れている
特に伊豆半島では高齢化が進み自身も障害者となってしまいました。このままでは伊豆半島は定住地区にはなれない状況です。一部の地区市民以外は全て他県からの移住者ばかりです。環境整備もせずに放置していたら駄目でしょうね。置き去り状態
このアンケートで問題解決に繋がるための何がわかるのか甚だ疑問。静岡県に来て感じたのは就労先の選択肢が少なく業界業種が限られているということや、買い物を楽しむ場所が少な過ぎること。若い人が流出する のも頷けます。
静岡市に観光スポットやアウトレットを作って欲しいです。
子育て支援を充実させて子供が増える環境にして欲しいです。
車社会ですので、車に関する施策・補助金などがあるととても助かります。移住先希望と流出の乖離があるのは、交通の便や車の維持費など生活に直結する部分の対応で多少緩和されるのではと考えます。
以前、三島市では、子は地域の宝事業を行っていた。市内は、高齢者が多く、高齢者には優しい町です。高齢者は、近所の子供がうるさいや学校の行事がうるさいと言う。塾の送迎の車にも文句を言い、子供はこの町に要らないのかと思う。大学を出た若者は他県に就職する。このまま高齢者優遇では、人口は減る一方だと思う。子育て世代から沢山の意見をまとめ、移住者が増えてくれる事を願う。

私は精神障害者です。こちらに引っ越して来た時に、ご近所の方から若いのだから働けとか働いていないのに、良いカッコするなとか散々言われました。静岡は冷たい町のイメージです

下田市の子育て環境が思っていたより大変なのを痛感しています。仕事には困りませんが、この先子どもをここで育てて行くべきか不安でしかないです。

参加できそうな社会貢献活動をずっと探しているが、なかなか情報がない。地域での NPO 活動もそれほど活発とは思えない。

予算の使い方がもったいないなど感じる事が多いです。旧態依然とした印刷物制作よりも、県外や若者に向けた、センスのいい発信をされた方が、効果的と感じます。

若い世代のために、教育の充実、雇用推進を希望

博物館、図書館が増えたらうれしいです

NPO活動参画について、自由意見から読み取れること

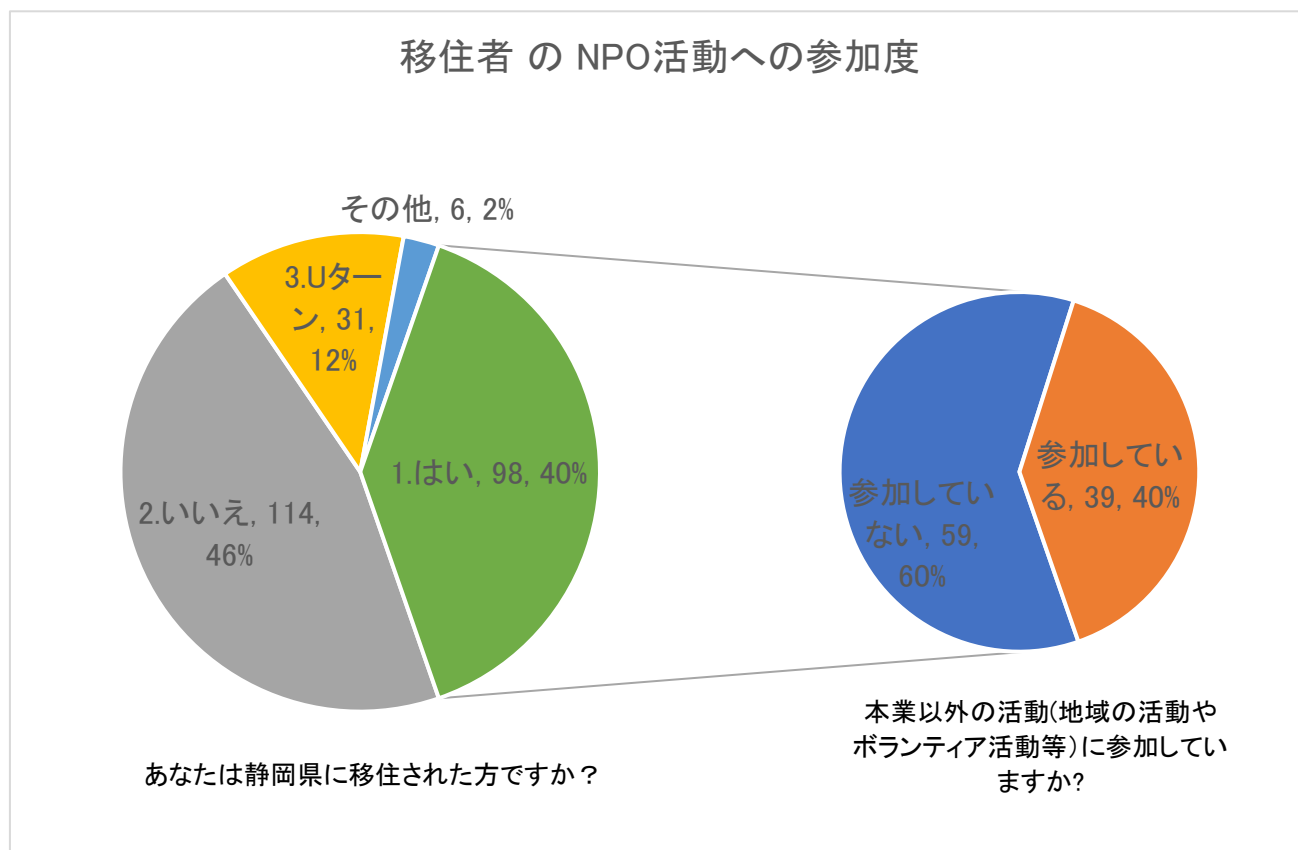
Chat GTP による分析

課題の解決方法

- ・ 青年の県外流出：若者に働く魅力を提供するための雇用創出や教育支援を強化。
- ・ 若年女性の県外流出：女性のキャリア形成を支援する環境整備と雇用選択肢の拡大。
- ・ 社会貢献活動への参加困難さ：社会貢献活動の情報提供や柔軟な参加形態を提供。
- ・ 若い世代の地域活動離れ：若者向けの魅力的な地域活動やイベントを企画し、参加を促進。

クロス分析: 移住者の NPO 活動への参加度

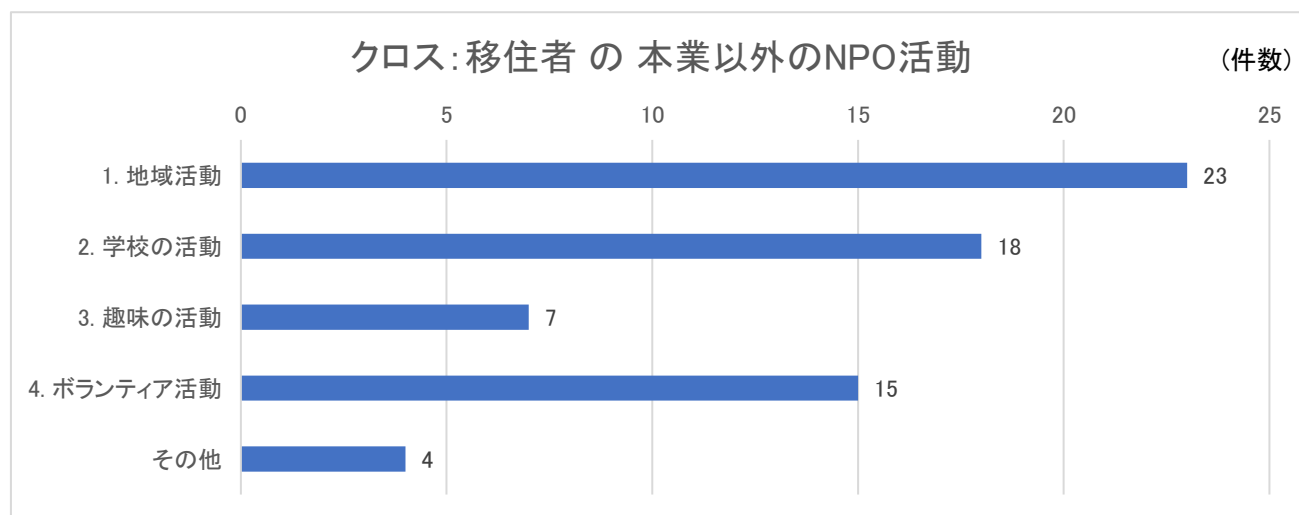
1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？		
3-1. 本業以外の活動(地域の活動やボランティア活動等)に参加していますか？		
1.はい - 参加していない	59	60%
1.はい - 参加している	39	40%
合計	98	



移住者で、「すでに本業以外の活動に参加している人の割合」は 40%、「参加していない人の割合」は 60%だった。

クロス分析:移住者の本業以外の NPO 活動

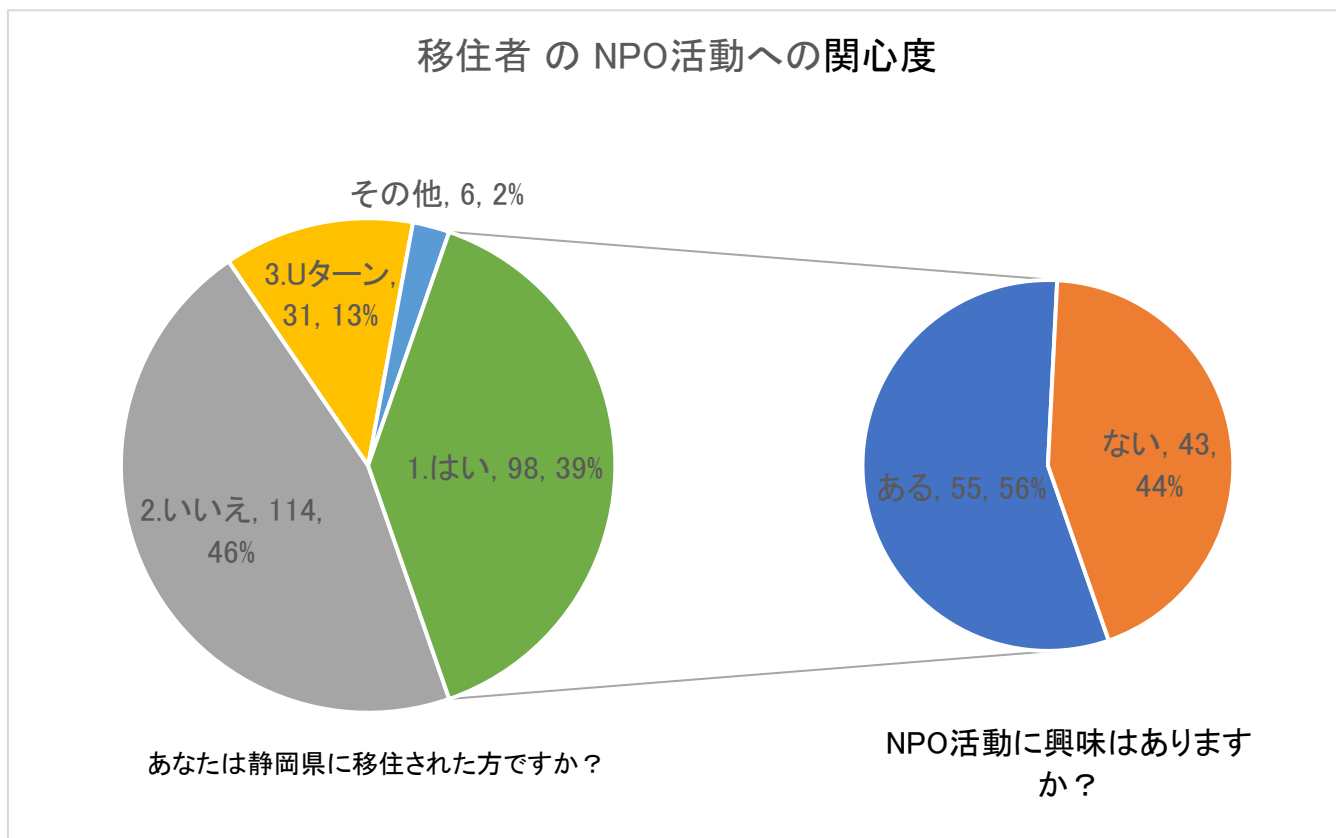
「移住者 かつ 本業以外の NPO 活動に参加している」回答者が、現在どんな NPO 活動に参加しているか。(1-1 = はい, 3-1 = 参加していると 3-2(複数回答可) の クロス集計)



移住者が参加する本業以外の活動分野は、「地域活動」「学校の活動」「ボランティア活動」が主なものである。

・クロス分析:移住者の NPO 活動への関心度

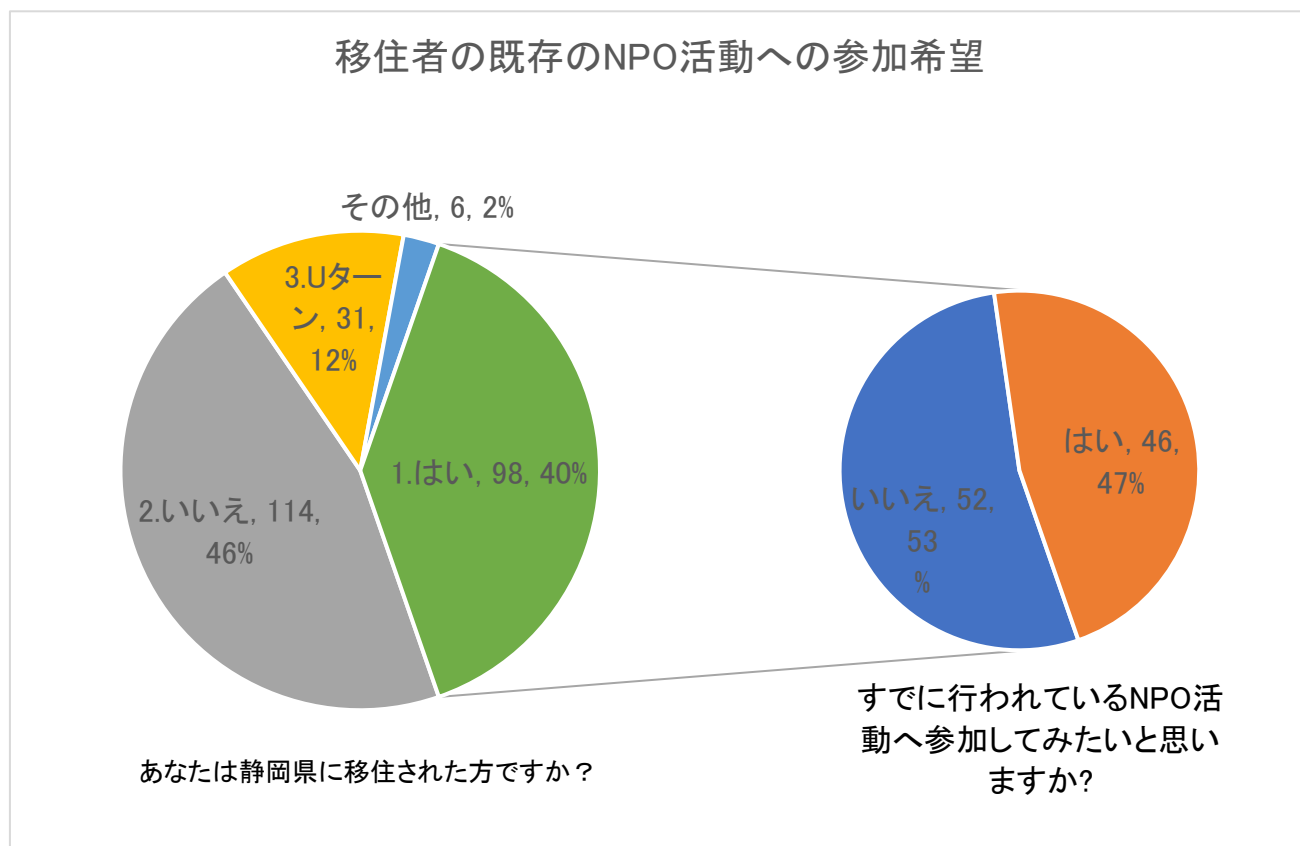
1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？		
3-3. NPO 活動に興味はありますか？		
1.はい - ある	55	56%
1.はい - ない	43	44%
合計	98	



移住した人の 56%が「NPO 活動に興味がある」と回答した。既述の結果より、そのうちの 40%はすでに何らかの活動に参加している。

クロス分析: 移住者の既存の NPO 活動への参加希望

1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？		
3-5. すでに行われている NPO 活動へ参加してみたいと思いますか？		
1.はい - いいえ	52	53%
1.はい - はい	46	47%
合計	98	

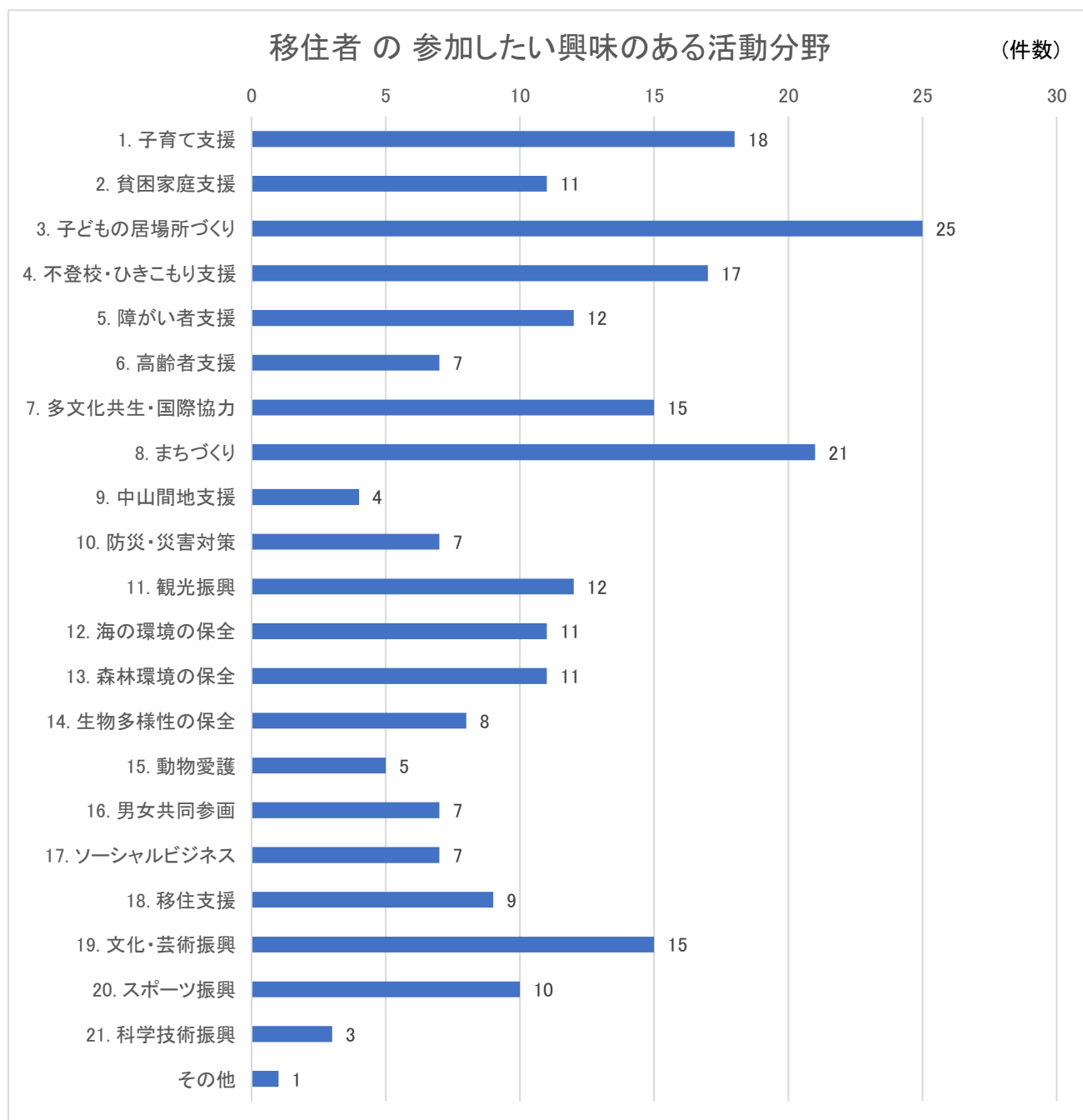


移住者のうち、「既存の NPO 活動に参加を希望する」人の割合は 47%、「希望しない」人の割合は 53% であった。

クロス分析:移住者の参加したい興味のある活動分野

「移住者 かつ 既存の NPO 活動に参加を希望する」回答者が、興味のある活動分野。

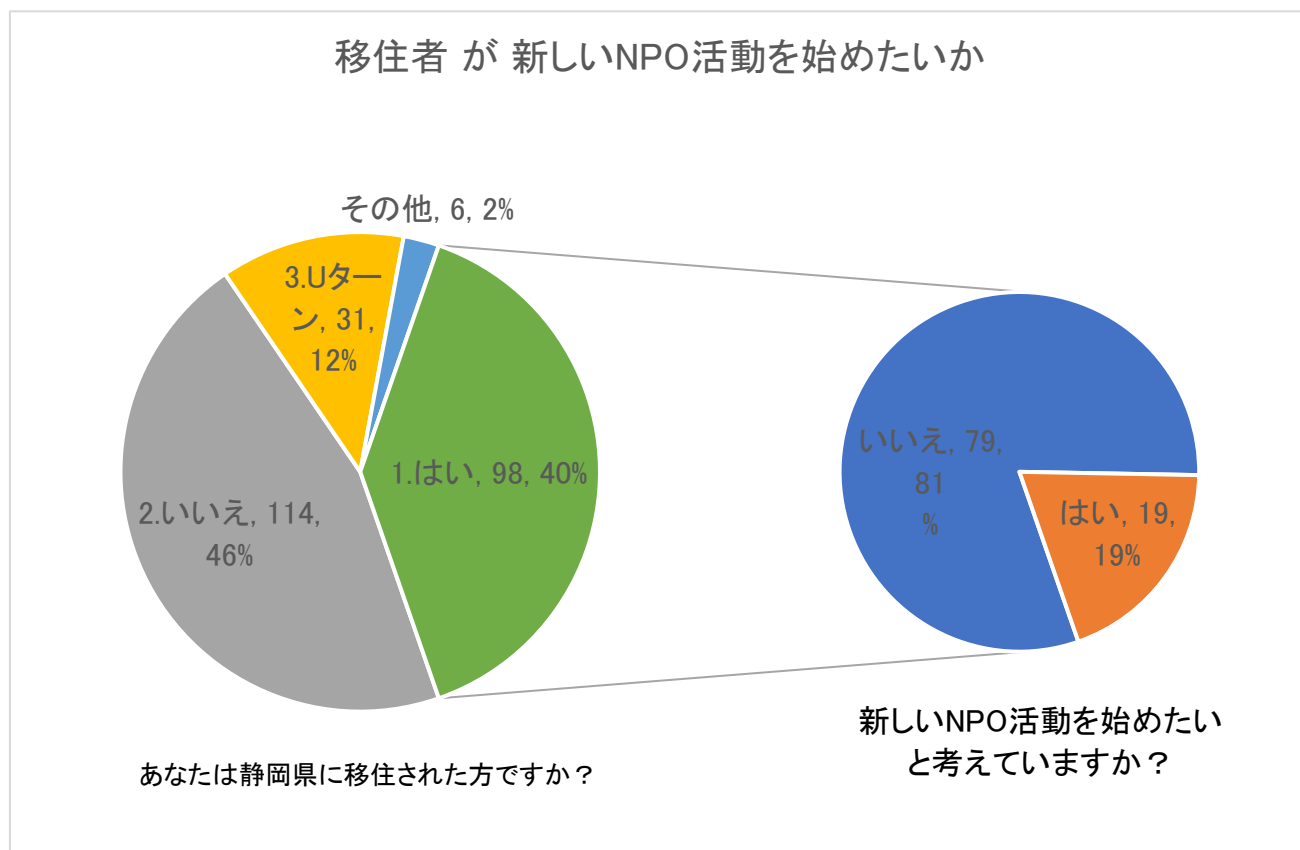
(1-1 = はい, 3-5 = はい と 3-4(複数回答可) の クロス集計)



移住者が参加したいと考える活動領域は「子どもの居場所づくり」「まちづくり」「子育て支援」「不登校・ひきこもり支援」と続く。

クロス分析:新しい NPO 活動を始めたい移住者

1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？		
3-6. 新しい NPO 活動を始めたいと考えていますか？ (件)		
1.はい - いいえ	79	81%
1.はい - はい	19	19%
合計	98	

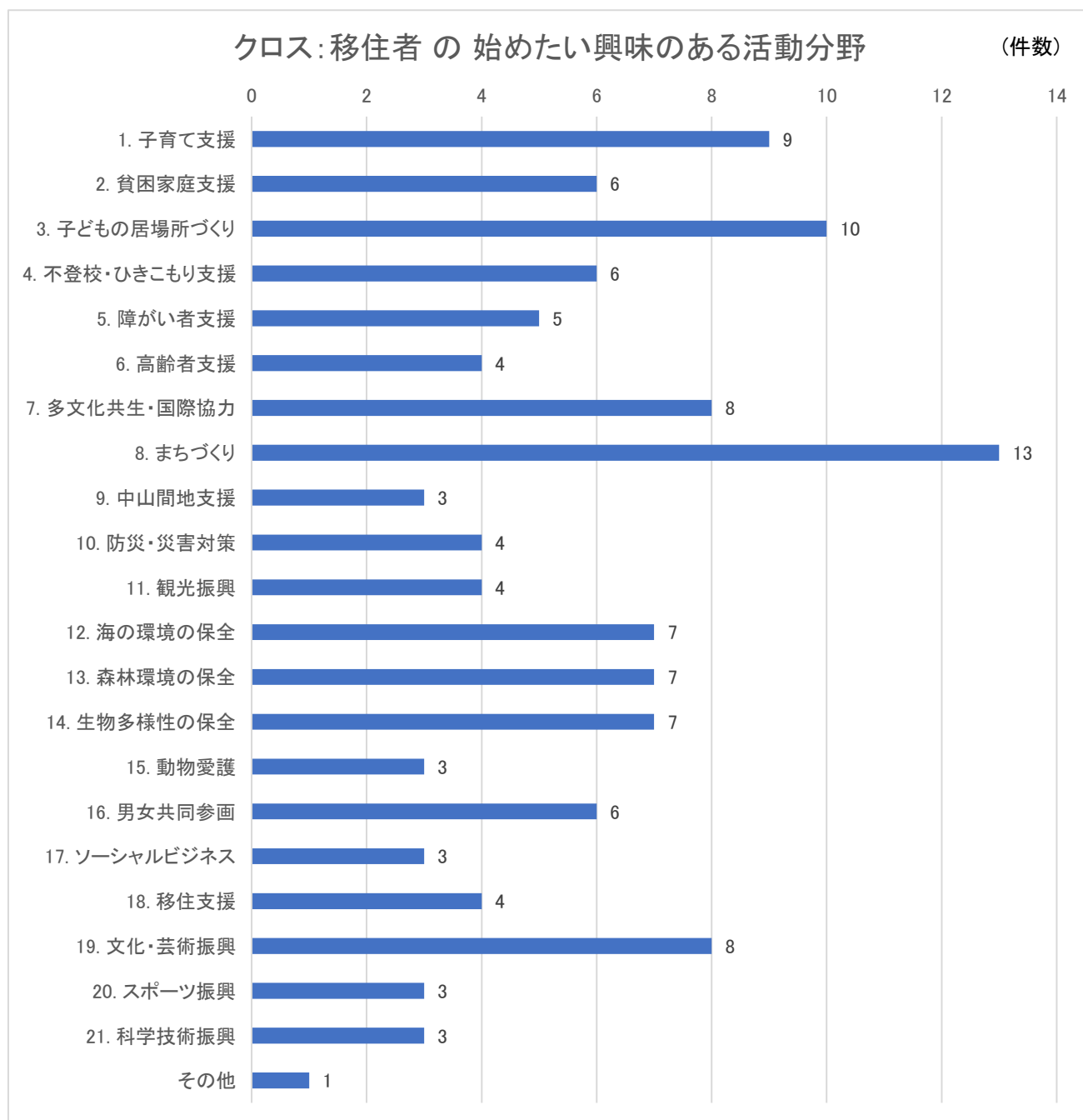


移住者のうち、「自分で何か新しいNPO活動を開始したい」人の割合は19%であった。

クロス分析:移住者の始めたい興味のある活動分野

「移住者 かつ 新しいNPO 活動を始めたい」回答者が、興味のある活動分野。

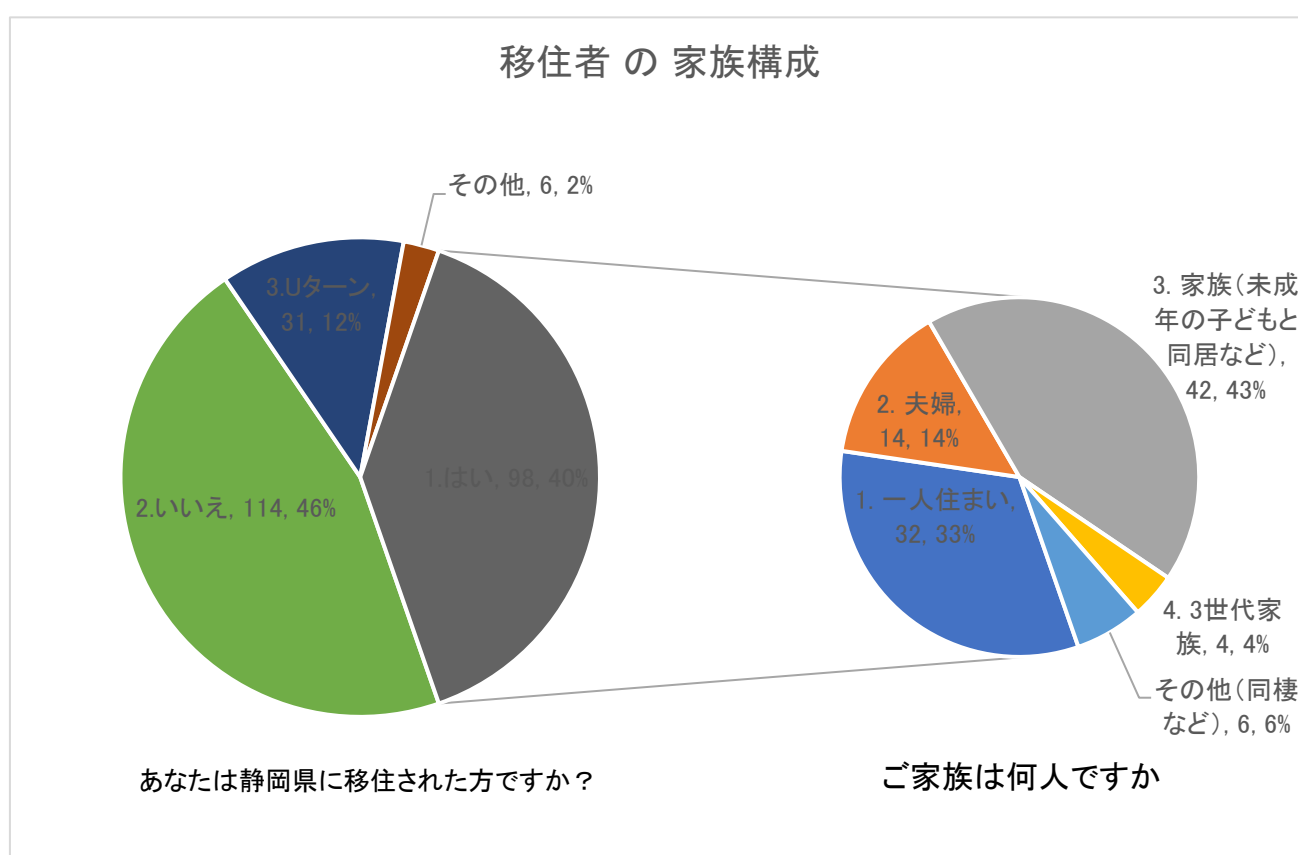
(1-1 = はい, 3-6 = はい と 3-4(複数回答可) の クロス集計)



移住者が自分で何かを始めたい分野は「まちづくり」を希望する割合が最も高く、「子どもの居場所づくり」「子育て支援」「多文化共生・国際協力」「文化芸術振興」と続く。

クロス分析: 移住者の家族構成

1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？		
1-6. ご家族は何人ですか？		(件)
1.はい - 1. 一人住まい	32	33%
1.はい - 2. 夫婦	14	14%
1.はい - 3. 家族(未成年の子どもと同居など)	42	43%
1.はい - 4. 3世代家族	4	4%
1.はい - その他(同棲など)	6	6%
合計	98	



移住者の家族構成は、「未成年の子どもと同居」が43%、「3世代家族」が4%、「同棲等」が6%、「単身」が33%、「夫婦のみ」が14%であった。

Ⅲ 調査結果:ヒヤリング調査

1. ヒヤリング対象の属性

1) 年代 (人)

20 代	3
30 代	5
40 代	5
50 代	2
60 代以上	2

合計 19

2) 地域 (人)

伊豆	5
東部	3
中部	7
西部	2

合計 19

3) 職業 (人)

会社役員	2
会社員	3
公務員	3
主婦・主夫	4
無職	3
個人事業主	2

合計 19

2. ヒヤリング結果

1) 移住・Uターン全般

- ・公共交通の便が悪いため、移住してきてもまた都会に戻る移住者もある。
- ・移住したばかりの頃、育児系の情報を入手しにくかった。
- ・行政、民間とも情報発信が上手にできていない。
- ・地域のお祭り準備等に参加しているが、Uターン組でも参加しない若者が多いので喜ばれている。
- ・県西部は企業も多いが、女性の多くが大学卒業後は帰ってこない。
- ・移住直後の子育て支援情報の入手は困難であった。
- ・保育園が主催するテーマ毎の居場所（移住者、外国人等）で友人も増え、困りごととは全てそこで解決した。

- ・ 下田市の移住相談は移住者が担当しているため、下田市の実情についての情報提供が不足している。
- ・ 移住前の移住地での子育て支援情報収集が困難だった。子育てしやすい隣町への移住を検討中
- ・ 独身のため、自治会加入もなく回覧板も来ない。全戸配布される市の広報で市内のイベントを知る。
- ・ 地域において先住者と移住者の間の溝は感じるが、信頼関係は構築可能である。
- ・ 移住地にはお世話になったので社会貢献したい。
- ・ 文化・教育に不安がある。
- ・ ボランティアとして任意団体の活動に参加しているが、将来的に自分の団体で活動したいと考えている。やりたいことは明確だが、何から始めたらいいのかわからない。

2) 本業以外の活動

- ・ 様々な活動を通じて地域の良さを全国に向けて SNS で発信している。人とのつながりを広げたい。
- ・ 学生時代の夏休み、帰省時に市内の団体で小中学生対象の学習支援ボランティアを経験した。
- ・ 子どもの学校で読み聞かせボランティアを行っている。
- ・ 地元の子育て支援活動に参加している。
- ・ 高齢者支援、空き家対策、伝統建築保存活動に参加している。
- ・ 教員の働き方改革にアプローチできたらいい(本業で見出した課題解決の活動を希望)
- ・ 静岡県立大の大学生 N G O あおい(カンボジアでの買春防止)の立ち上げを支援した
- ・ NP0 には興味はないが、自治会で女性初移住者の自治会長として地域活動全般に関わっている。特に、生活支援の共助の仕組みを作り管理している。地域自治を充実させ、行政との協働も進めている。
- ・ 移住者であるがゆえに、地域のしがらみに縛られることなく発言・活動がしやすい。
- ・ 会社の CSR (グリーンカーペット、マイ箸プロジェクト等)のみで社会貢献している。
- ・ 本業ではいただいた仕事をこなす形であり、本来興味のある分野を N P O 活動で充実させている。将来は、それが重なることが理想。

3) N P O 活動参加への課題

- ・ 専門的なスキルが必要な活動なので、地域で同じ活動をできる人がいないため都会との行き来が多い。
- ・ ソーシャルビジネスを始めたい意欲があるが、どう始めたらいいのかわからない。こういった話をできる場がなかった。
- ・ 想いはめぐり、様々なアイデアがあるので、それらを可視化して資料とし協働相手を探していく。可視化のスキル、実現可能性を高めること、プレゼン力を学べる研修が必要
- ・ N P O のことがよくわからない。

- ・何かをやりたい若者は多いが、腹を割って話していない（機会がない？場がない、シャイ？）
- ・ふじのくにNPO活動支援センターについてはその存在すら全く知らなかった。
- ・市主催の市民大学に通った。
- ・石川県では学校のカリキュラムに伝統技術（焼物、染め物、毛バリ細工などの職人芸）を学ぶことができるようになっている。静岡にも素晴らしい伝統芸術や職人芸があるので、それらを守る活動が重要だ。
- ・体調がすぐれないこともあり、自宅にこもることが多く友達はできにくい、T i k t o k等SNSで情報発信をして人とのつながりを得ている。
- ・高齢者施設（デイサービス等）での音楽ボランティア活動にとっても興味があるので、ぜひやりたいが情報が無い。
- ・本業でNGOの中間支援、事業評価事業に携わってきたので、その経験を活かしたいが地域団体に関する情報が入手できず、社会貢献ができないでいる。
- ・地域活動には興味はあるが情報が入ってこない。地域在住の職場の方にイベント等に誘われて参加したことはある。祭りの手伝い、清掃等に興味はあるが、自分だけで参加するには抵抗がある。
- ・現在は非常勤で働いているが毎日出勤しているので、退職後に本格的活動を考えている。
- ・本業以外でNPO法人の事務局を担当している。自由時間の高速もあるので家族の理解も必要
- ・何かを始めるには(起業のためには)、リスク管理、マーケティング、資金調達、税金申告、事務等についての講座や支援が必要ではないか。

4) 静岡の住み心地

- ・移住者が多い地域であり空き家も多い。しかし、空き家は多いが空き家は足りない状況
- ・子育てしやすいと感じている。
- ・高齢者になり車の運転ができなくなった時には住みにくくなり、公共交通沿線に引っ越す必要があるかもしれない。
- ・食べ物はおいしく、人もいいので永住予定である。
- ・今後他所に移住する可能性もある（2拠点生活も考えていた）。
- ・「静岡」という保守体質が心地よくない。
- ・これまで社会との関わりがあまりなく生きてきた。治療のため引きこもりがちであったが、人と話すこと、社会との関わりをしようと前向きな気持ちになっている。
- ・海が近い伊豆には定住予定で移住してきた。
- ・静岡は暖かく交通網もあり住みやすい。大学卒業時にコロナ禍にあり、なかなか友人ができにくい。
- ・静岡県は女性が働きにくい印象がある。
- ・高齢化率が高いが、町内の共助機能が残っている(声掛け、見守り)。
- ・静岡は魚が新鮮でおいしい、冬もとても暖かく住みやすい。

- ・ 定年後に移住したが、まだ東京での仕事があるので2重生活を送っている。
- ・ 15分で海に、観光脚向けの無料子とも向けイベントも多い、都会に還りたいとは思わない。
- ・ 生活に全く不満はないが、あえて言うのであれば免許返納した高齢者は移動に困難になる。
- ・ コワーキングスペース、リノベーションのまちづくりという移住者を受け入れやすい環境にある。
- ・ 山もあり海もあり、子育てに良い環境。東京からも近い(東京に仕事もあるため)立地にある。
- ・ 取り立てて問題はないが、時給が低い。

5) その他の意見

- ・ 移住相談会は東京でのみ開催されているので、名古屋でも開催してほしい。
- ・ 10年前から下田に訪問、8年前から下田への移住計画を立て、移住後の安定収入のため資格も取得した。移住の際は「下田バブル」のため家探しに苦労した。賃貸物件は移住者やリモートワークのため都会の企業が借り上げてしまう。ネットの不動産情報は古く、空き家はリノベーションなしでは住める状態にない。
- ・ 中山間地は関係人口や交流人口に頼るだけでなく、産業を興すことが必要だ。
- ・ 県から伊豆住民の意見は求められていないと常に感じていたので、今回のヒヤリング調査はうれしい。
- ・ 働き方改革といっても会社は効率性を高めることを再優先し、多様な働き方といった視点は見られない。
- ・ 東京では誰もが上昇志向が強く、良い学校へ、良い企業を目指したい。伊東に来て、地元で安定した暮らしを送ることに幸せを感じる若者が多いことに驚いた。東京の価値観だけが正しいとは限らないことを知らされ勉強になった。
- ・ 文化教育の課題、文化水準の格差が若者の意識の格差を生んでいる。静岡県現在の文化的環境が、将来的な意識格差を生まないような工夫が必要である。
- ・ 若者が働ける場が必要である。
- ・ 伊豆半島に大学の一学科だけでも設置されれば若者を取り巻く環境が変わるのではないか？
- ・ 自分を律する(成長する)ために社会貢献活動を継続させている。

3. NPO活動に関するヒヤリング結果のまとめ

- ・ オンラインアンケート調査は回答時の情緒的判断による回答もあるため、ヒヤリングで確認し回答の本意を伺うことができた。
- ・ 移住には何らかの理由があり、移住した地域への愛情を持ち地域貢献意欲も高かった。しかし、自分の興味や経験、スキルを十分活かした活動に繋がりにくいという回答が少なく

なかった。その理由として、情報（団体、地域課題、講座等）が入手できない、仲間づくりができない等があげられた。

- ・伊豆地域の現場からの意見収集は困難であるが、静岡県への地域貢献意欲はとても高い。オンラインを活用した積極的な意見の集約や交換の必要性が認められた。
- ・思いやアイデアを可視化するスキルアップ講座、プレゼン力を学べる研修、想いを共有できる仲間づくりの方法、起業のための事務的支援が自立するには必要である。
- ・法人化された自治組織活動に取り組む移住者の話は、行政に替わるNPOの役割や可能性、住民の地域貢献の意義を示してくれた。「移住者」や「若者」といったラベリングの無意味さが示されると同時に、NPOがなぜ必要なのか核心をついていた。

静岡県の若者・移住者対象ニーズ調査

静岡県は「移住希望地ランキング」で令和2年・3年連続で首位を獲得しています。しかしながら、令和4年の静岡県の人口流出は全国ワースト8位（総務省「住民基本台帳人口移動報告」）、「若年～勤労者世代」と「20～24歳の女性」の県外流出が特徴的だといわれています。静岡県の若者や移住者が県内での社会的活動に意義を見出し、地方で生きる術と価値を創出することが人口流出の歯止めになると考えます。社会貢献活動の機会を提供し、その活動継続のためにどのような支援が必要なのかを把握するために本アンケートを実施します。

■対 象：静岡県内にお住いの若者・移住者

■回答時間：5～10分

■内 容 アンケートでは、以下の項目について質問させていただきます。

- 1) 現在の生活における課題とその解決方法
- 2) 社会貢献活動への関心
- 3) 社会貢献活動への参加について
- 4) ヒヤリング調査へのご協力について

また、ご意見やご提案がございましたら、自由記述のフィールドもご用意しておりますので、お気軽にご記入ください。

■個人情報取り扱いについて

個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、「静岡県の若者・移住者対象ニーズ調査」関連業務で実施する事業で使用いたします。当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。ただし、ご記入者の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

* 必須の質問です

【1】あなたご自身についておしえてください

1. 1-1 あなたは静岡県に移住された方ですか？ *

1つだけマークしてください。

☐ 1.はい

☐ 2.いいえ

☐ 3.Uターン

☐ その他: _____

2. 1-2. あなたの世代をお伺いします *

1つだけマークしてください。

- ☐ 10代
- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代以上

3. 1-3. 現在のお住まいの市町をおしえてください。 *

※住民票に記載されている市町をご回答ください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 静岡市
- ☐ 焼津市
- ☐ 島田市
- ☐ 藤枝市
- ☐ 牧之原市
- ☐ 川根本町
- ☐ 吉田町
- ☐ 沼津市
- ☐ 熱海市
- ☐ 三島市
- ☐ 富士宮市
- ☐ 伊東市
- ☐ 富士市
- ☐ 御殿場市
- ☐ 裾野市
- ☐ 小山町
- ☐ 下田市
- ☐ 伊豆市
- ☐ 伊豆の国市
- ☐ 東伊豆町
- ☐ 河津町
- ☐ 南伊豆町
- ☐ 西伊豆町
- ☐ 松崎町
- ☐ 函南町
- ☐ 清水町
- ☐ 長泉町
- ☐ 浜松市
- ☐ 磐田市
- ☐ 袋井市
- ☐ 掛川市

- ☐ 湖西市
- ☐ 菊川市
- ☐ 森町
- ☐ 御前崎市
- ☐ 県外・その他

4. 1-4 移住された方にお伺いします。静岡県には何年お住まいですか？

1つだけマークしてください。

- ☐ 1年未満
- ☐ 1～5年
- ☐ 6～10年
- ☐ 11～15年
- ☐ 16～20年
- ☐ 20年以上
- ☐ その他

5. 1-5. お仕事は何ですか？ *

※複数の場合、主たるものをご回答ください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 学生
- ☐ 個人事業主
- ☐ 会社員
- ☐ 農業
- ☐ 林業
- ☐ 漁業
- ☐ 会社役員
- ☐ 公務員
- ☐ 団体職員
- ☐ 主婦・主夫
- ☐ 無職

6. 1-6. ご家族は何人ですか？*

1つだけマークしてください。

- ☐ 1. 一人住まい
- ☐ 2. 夫婦
- ☐ 3. 家族（未成年の子どもと同居など）
- ☐ 4. 3世代家族
- ☐ その他: _____

7. 1-7. 移住、Uターンされた方にお伺いします。その理由をおしえてください(複数回答可)。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 学業
- ☐ 仕事
- ☐ 自然環境
- ☐ 子育て
- ☐ 介護
- ☐ 結婚
- ☐ 新しい働き方
- ☐ 旅行で気に入って
- ☐ ワークーションイベントに参加して
- ☐ 療養のため

【2】あなたの困りごとについておしえてください

8. 2-1. 仕事・学業等について困っていることは何ですか?(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 1. 収入
- ☐ 2. 人間関係
- ☐ 3. 交通手段
- ☐ 4. IT環境
- ☐ 5. キャリアや成績
- ☐ 6. 健康
- ☐ 7. 将来への不安
- ☐ 8. 特に困っていない
- ☐ その他: _____

9. 2-2. 生活について困っていることをおしえてください(複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 1. お金
- ☐ 2. 友人関係
- ☐ 3. 町内会、自治会
- ☐ 4. 買い物
- ☐ 5. 交通手段
- ☐ 6. IT環境
- ☐ 7. 子育て
- ☐ 8. 介護
- ☐ 9. 趣味・娯楽
- ☐ 10. 住居
- ☐ 11. 文化施設
- ☐ 12. 通院
- ☐ 13. 特に困っていない
- ☐ その他: _____

10. 2-3. 困った時に誰に相談しますか? (複数回答可) *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 1. 行政機関窓口
- ☐ 2. 友人
- ☐ 3. 家族
- ☐ 4. 近所の人
- ☐ 5. SNS
- ☐ 6. 特に相談しない
- ☐ その他: _____

【3】 本業以外の活動をおしえてください

11. 3-1. 本業以外の活動(地域の活動やボランティア活動等)に参加していますか? *

1つだけマークしてください。

- ☐ 参加している
- ☐ 参加していない

12. 3-2. 現在どんな活動に参加していますか? (複数回答可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 1. 地域活動
- ☐ 2. 学校の活動
- ☐ 3. 趣味の活動
- ☐ 4. ボランティア活動
- ☐ その他: _____

13. 3-3. NPO活動に興味はありますか？

*

※NPO活動とは、市民が主体となって社会的な課題の解決に取り組む、営利を目的としない活動を指します。

1つだけマークしてください。

☐ ある

☐ ない

14. 3-4. どんな活動に興味がありますか？（複数回答可）

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 1. 子育て支援
- ☐ 2. 貧困家庭支援
- ☐ 3. 子どもの居場所づくり
- ☐ 4. 不登校・ひきこもり支援
- ☐ 5. 障がい者支援
- ☐ 6. 高齢者支援
- ☐ 7. 多文化共生・国際協力
- ☐ 8. まちづくり
- ☐ 9. 中山間地支援
- ☐ 10. 防災・災害対策
- ☐ 11. 観光振興
- ☐ 12. 海の環境の保全
- ☐ 13. 森林環境の保全
- ☐ 14. 生物多様性の保全
- ☐ 15. 動物愛護
- ☐ 16. 男女共同参画
- ☐ 17. ソーシャルビジネス
- ☐ 18. 移住支援
- ☐ 19. 文化・芸術振興
- ☐ 20. スポーツ振興
- ☐ 21. 科学技術振興
- ☐ その他: _____

15. 3-5. すでに行われているNPO活動へ参加してみたいと思いますか？ *

1つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ

16. 3-6. 新しいNPO活動を始めたいと考えていますか？ *

1つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ

【4】 お願い

さらに詳しいお話を直接お伺い出来る場合は、お名前と連絡先をおしえてください。
後日、オンラインでヒヤリング調査をお願いすることがあります(謝礼あり)。

17. 4-1. 氏名

18. 4-2. メールアドレス

19. 4-3. 電話番号

20. **【5】 ご意見等ございましたら、自由にご記載ください。**

No.

若者・移住者のNPO参画支援 ヒヤリング調査シート

ヒヤリング 実施日 2023年 月 日

実施時間 : ~ :

インタビュアー

記録者

既存NPO参加希望					
立ち上げ希望					
インタビュイー氏名					
年 代		職 業		住 所 (市町)	
希望分野					
希望地域					
希望曜日					
希望時間					
将来的定住の可能性					
自由ヒヤリング					
特記事項					
事務局より					